

## 世界遺産ってなに？

多様な文化遺産を世界中でお互いに学び、大切にしようことで、国際理解を深めることを目的にユネスコが支援する世界遺産委員会が世界中の人の宝として認めた場所や建物が「世界遺産」です。現在、日本には姫路城や佐渡金山など 21 件の文化遺産と、屋久島や知床など 5 件の自然遺産があります。

彦根城が世界遺産になれば、彦根城が広く世界に知られるだけでなく、江戸時代の平和を支えた「政治のカタチ」をヒントにして、世界平和の手助けになれるかもしれませんね。

## 世界遺産があるまちで暮らす

彦根に世界遺産があると、世界から彦根の歴史や文化の魅力に注目が集まり、世界中で彦根城を大切に思ってくれる人が増えることが期待できます。そして彦根市民が、世界に愛される宝とともに生活することで、より強く彦根に対する愛着も深まるのではないのでしょうか。

住みたい、住み続けたいまちとしての魅力を高めるため、みんなで「世界遺産彦根城」を目指しましょう！

## 地域の人々が、誇りに思えるように

彦根で生まれ育った私には、彦根城はあって当たり前でしたが、世界遺産の暫定リストに載ってから、さまざまな視点から彦根城の話を伺う機会が増え、改めてそのすばらしさに気づきました。そして、**世界遺産の登録には市民の思いが大切であること**も知りました。私に特別な力があるわけではありませんが、少しでも故郷に恩返しできるならと思います。会長をさせていただいています。2025 年は国内推薦を期待されていた方も多く、「残念だったね」と声をかけていただくこともありましたが、私は今の状況を悪いとは思っていません。文化庁からは、「ダメだ」と突き放されたのではなく、「何をすればいいか」を示してもらえたんですから。そして、忘れてはいけないのは、**世界遺産登録は通過点に過ぎない**ということです。

この地域に暮らす者としては、市民一人ひとりの彦根城を誇りに思う気持ちが高まると嬉しいし、それは登録後にも、大切なことだと思います。さらに、彦根城の世界遺産登録をきっかけに、彦根市民であることへの誇りを持つ人が増えることを願っています。



彦根城世界遺産登録  
意見交換・応援  
1000 人委員会  
会長 宮川 富子さん



## 「彦根城を世界遺産に」は一步ずつ前へ

彦根市は、彦根城の世界遺産登録に向けて長い間歩み続けてきました。そして令和 6 年 10 月、世界遺産の審査をする団体（イコモス）から「彦根城は世界遺産になりえる」との事前評価を受けました。現在は次のステップである国内推薦へ向けて準備中です。これまでの努力は確実に実を結びつつあります。登録へのカウントダウンは、始まっているのです。



## 彦根城に与えられた、主な二つの課題

彦根城の世界遺産登録に当たっては、課題もあります。ひとことで言えば、世界遺産としての価値が複雑でわかりにくいこと。文化庁は、この点を課題として

示され、昨年の国内推薦は見送られることになりました。私たちはこの課題を乗り越え、今年の国内推薦を確実に勝ち取りたいと考えています。



キンクロハジロくん

国内推薦が見送りになったって、どういうイミ？

世界遺産に登録されるには、日本という国が世界遺産の候補として彦根城を推薦する必要があるんだよ。今回、彦根市と滋賀県が協力して説明文とか資料を文化庁に提出したんだけど、「世界遺産の登録には、説明の仕方がまだ十分ではない」って言われたんだ。今回の特集では、文化庁から示された二つの課題を解説するよ。



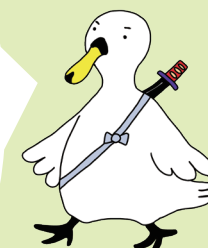
ハクチョウ隊長

## 課題一 「江戸時代の政治のカタチ」をわかりやすく説明せよ。

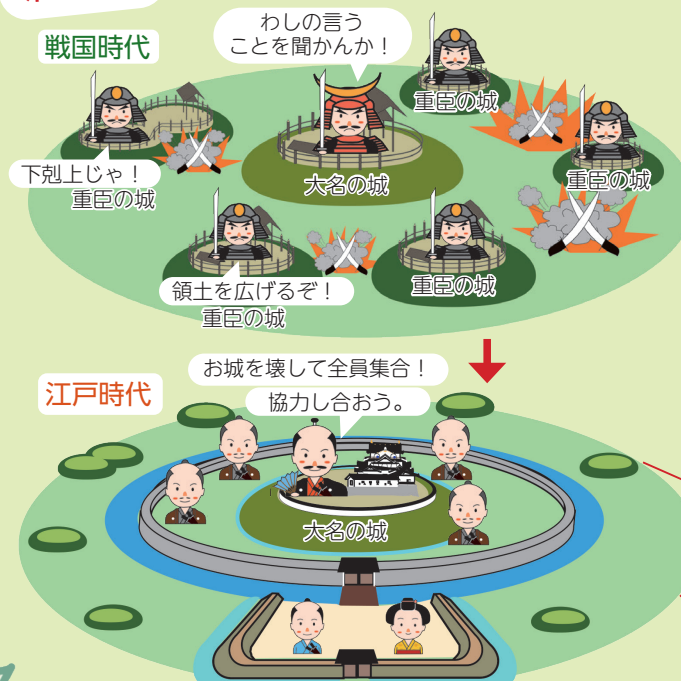


「江戸時代の政治のカタチ」って何なん？

政治のカタチは、政治ゾーン（P2・P3）を見てみて。政治ゾーンの中に大名と重臣が集まって住んでいて、大名を中心にワンチームで話し合っ政治がされていたんだ。どの大名チームでも共通していたこの「江戸時代の政治のカタチ」が、約 260 年の平和な時代を支えたんだ。この政治のカタチを『大名統治システム』と呼んでいるんだよ。



コレがポイント！



大名だけではなく、重臣も好きにお城をつくっていた戦国時代と違い、江戸時代では、将軍から任された一つの城に大名を中心に重臣が集まり、話し合っ政治をしたので、争いが起きなくなりました。

## 日本中の城で共通

